

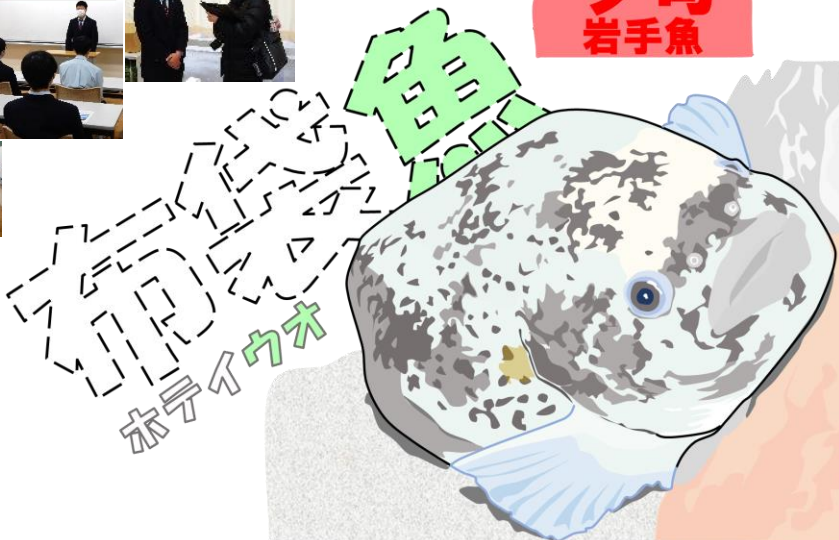
海洋システム科通信 2月号



追悼と祈願 (海の安全祈年日)



今旬
岩手魚



21年前の2月10日、ハワイ沖で水産高校の実習船に浮上してきたアメリカの潜水艦が衝突し、生徒や先生らが亡くなる事故が起きた。今年度も、亡くなった方へ追悼の意を示すとともに、実習での安全を祈願して海洋システム科全員で黙とうを捧げた。

体に良いし美味しい！ (リクカフェ健康ランチ)



家庭科の授業の一環として、リクカフェさんと手を組み、生徒が考案したメニューを組み合わせたお弁当を作って頂いた！試食中はテレビ電話をつないで、栄養士さんからメニューの講評や栄養に関する講義をして頂き、料理や栄養に関する知識を深めた！リクカフェさんや家庭科の先生に感謝！

先生の独り言 vol.11 「ファーストペンギンの心」



「ファーストペンギン」をご存じだろうか？“リスクを恐れず勇気をもって挑戦する人”のことを指すビジネス用語で、NHK連続テレビ小説「あさが来た」のセリフに用いられたことで話題となった。この言葉、ペンギンの“ある習性”にちなんで作られた。ペンギンは氷の上で群れをつくって暮らしている。群れには特定のボスやリーダーはおらず、群れの動きは“最初に行動した一羽”によって決められていく。この習性が特に重要となるのが、魚を獲りに行く時である。海には魚がたくさんいる一方、天敵となるオットセイやシャチもいる。このため、ペンギンの群れは海岸で足踏みして動きが止まってしまうのだ。そんな中で最初に飛び込むペンギんこそ、「ファーストペンギン」である。ビジネスの世界では、リスクを恐れずに新しいことに

挑戦する人の勇気と挑戦心を称えて、ファーストペンギンと呼ぶのだ。

ただし、個人的にはファーストペンギンの勇気と挑戦心には疑問がある。というのも、実際のファーストペンギンは海に“飛び込んだ”のではなく、“落とされた”からである。エサを求めて海岸に集まったペンギン達は、押し合いへし合いしながらじりじりと岸壁まで詰め寄せる。「お前が行けよ」、「いやお前が行けよ」と聞こえてきそうな様子である。やがて、群れに押し出された一羽が海に落ちる。空中で態勢を立て直そうと手足をバタつかせるその姿はなんとも痛々しい。

ファーストペンギンは群れを動かす重要な一羽である。しかし、その心は、“危険を恐れない勇気や挑戦心”ではなく、“危険な海に落とされた悲しみ”で満ち溢れているに違いない。

